



フデリンドウ (リンドウ科)

日当たりの良い山野に生える2年草です。長走風穴では、第2指定地へ行く途中の野原で見ることが出来ます。この植物は草丈が5~10cmと小さく、見落としがちですから、気を付けて探してみてください。

花が咲くのは4~5月。細長い釣り鐘の形をした青紫色の花が数個、茎の先に付きます。日光を浴びて上向きに開いたこの花の様子は、どこかしら筆の穂先に似ていて、フデリンドウの名はそこから付いたものだといわれています。

編集後記

□地熱で地表の雪が溶け、地面との間にすき間ができる。そのすき間に、じっと春を待つバッキヤを見つけた。もぎ取ってにおいをかぐ。春の息吹を何度も胸の奥深く吸い込んだ。「生きてる」という実感……。(一)

□今年はスギ花粉が大発生するという予報。クシャミ、鼻水、目のかゆみ、原因が何かは調べてもらってませんが、私も春と秋には顔中グシャグシャ状態の花粉症。春の気配にもうれしさは中ぐらい、なんとなく心配です。とにかくティッシュは買っておきます。(M)

□十日ほど前から肩と足首が痛む。以前ねん挫した個所で、季節の変わり目にはいつも悩まされる。十代のころはこうなることを予想もせずに暴れてうごいたものだが……。体の老朽化が始まっているということか。なんだか心までもが痛みだしそうだ。(ゆ)

☎ 広報おおだて 平成7年3月16日号(No625)
 発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地
 ☎ 0186-49-3111
 編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

(表紙: ナシのせんてい~中山町内で)



広報「おおだて」は再生紙を使用しています。